



特定非営利活動法人エフエムわいわい
 Nonprofit Organization FMYY(En)
 Organización sin fines de lucro FMYY(Es)
 Tổ chức NPO FMYY(Vt)

特定非営利活動法人エフエムわいわい 2018 年度事業報告書

◆総括

1995 年の震災から始まった「コミュニティの必要に応じ、コミュニティの人々から発信」として生まれた「FM わいわい」（以後 FMYY）の求めるところは、世紀が変わり、年号がいかに変わろうとゆるがない。もちろんその形態は以下の年表をみても、社会変化といろんな方々の参加と篤い教示や示唆、知恵や情報の共有の中で変容し、ラジオ電波からインターネット配信へ、そして放送から通信というインターネットサイトとしての新しい形態をとることとなった。

年月日	事象	きっかけ・目的
1995 年 1 月 17 日	「阪神・淡路大震災」発災！	人々は知り合いの安否を一番に知りたかった。
1995 年 1 月 30 日	「FM ヨボセヨ」放送開始。	在日コリアンの仲間を捜すためのツール。
1995 年 4 月 16 日	「FM ユーメン」放送開始。	より不安な環境の人々への気づき。
1995 年 7 月 17 日	「FM ヨボセヨ」と 「FM ユーメン」が融合 市民メディア「FM わいわい」 放送開始。	被災地でのまちづくりに必要な復旧・復興のまちづくりのための情報共有・知恵の共有の交換、醸造、新たな提言などを求めて、「まちづくり」の必要な人・モノ・知恵・金の流通の場として活動。
1996 年 1 月 17 日	電波管理局からの免許取得「株式会社エフエムわいわい」として放送開始。	1 年の海賊放送は広く認められ、被災地での復旧・復興の情報共有ツールの必要性を知らしめた。
1998 年 1 月 17 日	ジェームス比嘉さんの尽力によりインターネットでの配信も開始。電波だけでなく Stream、YYTV など多様な媒体活用。	時代は ITC へ。日本での FMYY の活動を広く知らせることが可能なツールとして着目された方による全面支援でインターネット放送も開始。
2010 年 7 月 3 日	特定非営利活動法人格取得のための設立総会。	2008 年 9 月の欧州議会で「コミュニティメディアを制度化すべし」とする決議がなされた。決議文には「社会が多様化していく中では異文化間の対話は、持続可能な社会づくりには欠かせない。社会の中の声なき声に耳を傾け、その声をしっかり社会に反映させていくことをコミュニティメディアは可能にする」と明記されている。15 年に渡る FMYY の活動を NPO 法人として外国籍やいろんな違いのある仲間と社会に参画母体の形態をとりたいと考え、この法人格取得

2011 年 2 月 7 日	特定非営利活動法人としての法人格取得。	法人格は取得したが、他の NPO 法人では承認されている外国籍の理事が、メディアは不可。
2016 年 1 月 17 日	国の免許返還を理事会からのお知らせとして発信。	放送法の改正による法的・経済的負担増は、草の根レベルで実施してきた正式開局 20 年(海賊放送を含めると 21 年)のその未来を予想することのできない状況になった。また時代に即した新たな配信形態が一般庶民にも手に届く時代になったこともあり、運営体制も一新した「みんなで支えるコミュニティメディア」としての道を選んだ。
2016 年 3 月 31 日	5 年免許更新の承認を受けたが、3 月末をもってラジオ電波を終了。免許返還。	作業部会としての会議をそれまでの仲間、新たな仲間との会議を開催。たくさんの方の会員会議での話し合いで、解散は否決。存在は必要とされ、みんなで支える完全ボランティア団体として再出発。
2016 年 4 月 17 日	インターネットメディア「FM わいわい」配信開始。	暫定的な昼と夜の「ワンコイン番組」と WMIBA (WorldMusicInternetBroadcastingAssociation) の音楽配信。(WMIBA から 400 曲楽曲提供)
2016 年 7 月 17 日	番組形式をとっての Stream 配信開始。	覚書を交わした新番組の配信開始。
2018 年 3 月 17 日	生放送番組を YouTube 配信開始。	ICT のますますの変化の中で、継続のための、より市民らしい形態を求めている。
2019 年 3 月 31 日	サイマル放送での配信終了	以前ラジオ時代に活用していた Podcast の再活用
2019 年 6 月 30 日	リスンラジオ配信の終了	WEB 形式のインターネットメディアとなる。

インターネットを活用したコミュニティメディア FMYY という「発信の場」として次のタームの 1 年目が経過した。2019 年 7 月 1 日からは、12 時から 20 時までのプレイリストによる番組配信というものとはなくなる。完全なインターネットメディアとしての一歩が始まる。

2018 年の総会後の番組制作にかかわる Crew たちとの話し合いは、『ラジオのように、テレビのように FMYY をクリックしたら番組が自動的に流れるという媒体ではなくなる』ということの理解の時間となった。それは「番組」制作にかかわる Crew にとっての大きな不安であったといえる。しかしながら、インターネットの進化は驚くべきものがあり、その活用方法は、ほんの 1 年前とは雲泥の差である。昔ラジオ時代に使っていた Podcast が、より手軽に一般的なアーカイブ

				
アジア女性自立プロジェクトの番組収録風景	ゆうかりに乾杯と FMYY の共催 BBQ	「1.17KOBE に灯りを in ながた」会場実況中継	Latin-a のライブ配信風景	ラテンの母語教室の子どもと交流キッズ番組

の格納の場所として活用できる時代になっていたことはタイミングとして幸いした。

それぞれの番組の人々にとり、番組が FMYY のサイトに掲載されると自動的にそのことが自分の

携帯、端末などに知らせられ、また YouTube も同じく、チャンネル登録をするだけで、自動的に配信のお知らせが来る。番組のアドレスを QR コードに置き換えると、コードをカメラに写すだけでその番組に簡単にアクセスできる時代になった。このことは誰もが簡単に番組を制作し、サイトを作り、発信する、ということが可能になったとも言える。

では FMYY の存在意義とはなになのか？

現在番組制作に携わる日本語番組の Crew たちは、たかとりコミュニティセンター(TCC)にある FMYY に来て、そこに集う様々な人々(主にラテンとベトナムの人々そして地域の人々)と交流し、いろんな空気を感じながら FMYY のスタジオで制作することに大きな意義を感じている。そのことは月 1 回の CrewMTG での意見交換の中で、実感できた。FMYY は配信する(onAIR)場ではあるが、ここに集う、そしていろいろな人々と出会う、いろんな違いを知る、新たなつながりが生まれる、発見が生み出されるという「まちづくり」の場(offAIR)としての役目も同時に果たしていると感じた 1 年であった。

また外国語番組の Crew でいえば FMYY を縦横に活用している「Latin-a」への多数のアクセス、それに追従するベトナム語番組も、長田を中心とする新渡日のベトナム人たちにとっての情報サイトとして大きな役割が生まれつつあるのは、インターネットだからこその数字でわかる。

番組名	Latin-a			
番組概要	日本に暮らすスペイン語圏住民が必要とする情報を、週ごとに発信。医学や労務など、各分野の専門家がリスナーの疑問に答えるコーナーなどもある。			
発信主体	「ひょうごラテンコミュニティ」 在日南米系スペイン語圏(ペルー等)住民を対象とした自助コミュニティ。ペルー総領事館(ペルーは南米系住民の数としては、ブラジルに次いで第 2 位)より在日本ペルー人の自助活動組織として信頼も厚く、移動領事館もひょうごラテンコミュニティの活動拠点にて開催されている。			
アクセス数	2019 年 5 月 1 日生放送	22.916 回	番組制作開始年月	配信日(公開後 アーカイブ化)
番組視聴: 2019 年 5 月 1 日	4.297 視聴、7.701 シェア		2000/10/4	毎週水曜 19 時から 20 時
参考: 日本在住ラテン系人口	75.000 人			毎月 12000 部 随時

En el año 2000 inicié mi conducción en el programa radial Latin-a, una bonita experiencia que me ha ayudado a desarrollarme y poder ayudar a mi comunidad brindándole información necesaria para desarrollarse y sacar adelante a sus hijos. Es muy emocionante ver cómo en estos casi 20 años hemos ido ganando el cariño y la confianza de nuestra comunidad que cada semana espera nuestras transmisiones. Muchas gracias a todas las personas que día a día se esfuerzan para que FM YY pueda brindar información a mi comunidad, espero que juntos podamos seguir adelante.

2000 年に私はこのラジオ番組のパーソナリティになりました。この番組は、私自身のラテンのコミュニティ社会と子供たちを成長させ発展させるのに必要な情報を提供しています。そしてそれはラテンコミュニティを助け、この国での自立の道とすることができました。

私たちが 20 年近く毎週水曜日の放送を続けてきたことで、この番組を待っているコミュニティの愛と自信を獲得してきたことを見るのはとてもエキサイティングです。

FMYY が私のコミュニティに情報を提供できるよう、あらゆる努力を惜しみなく与えてくれたすべての人々に感謝します。一緒に私たちが前進できることを願っています。

ひょうごラテンコミュニティ代表 ロクサナ・A・オシロ(そして 2016 年から FMYY の理事)

番組名	住みやすい日本を創るための情報発信番組 HÃY AN NHIÊN MÀ SỐN (旧：災害への備え)		
番組概要	日本に暮らすベトナム人が必要とする情報について、月替りでテーマを絞り、ベトナム語で配信している。(例：2019年5月は「新しい在留資格:特定技能」がテーマ)		
発信主体	「ベトナム夢 KOBE」在日ベトナム人を対象とした自助コミュニティ。前身の NGO ベトナム in KOBE と合わせると 18 年間活動を続けている。		
アクセス数	2019 年 4 月 157 回	番組制作開始 年月	配信日(公開後アー カイブ化) ニュースレター 相談窓口
番組再生回数：累計 6062hit。2019 年 5 月まで 19 回 配信。(参考：神戸市ベトナム人数 7,186)		2017/10/7	第 1・2 土曜日 17:00 から 17:30 毎月 500 冊 随時
番組名	あんしんつうしん		
番組概要	日本に暮らす外国人(特に女性)に向け、月替りでテーマを絞り、やさしいにほん語、英語、タガログ語で配信している。(例：2019 年 4 月は「改定入管法・ゴールデンウィーク」がテーマ)		
発信主体	「特定非営利活動法人アジア女性自立プロジェクト」国内外問わずアジア女性のエンパワメントに取り組む団体。日本に暮らす外国人に向けては、主に女性に向けメールマガジンを使った生活情報発信や電話相談窓口などを行っている。		
アクセス数	2019 年 4 月 125 回	番組制作開始 年月	配信日(公開後アー カイブ化) ニュースレター 相談窓口
番組再生回数：累計 1692hit。2019 年 5 月まで 10 回		2018/7/7	第 1・2 土曜日 17:30 から 17:45 毎月 500 冊 随時

また違った視点として神戸市のプロジェクト『神戸ソーシャルブリッジ』から FMYY の検証のために来てもらったプロボノ(仕事や社会経験で培われた課題解決の考え方や視点を生かし、NPO・地域団体の運営基盤を応援するボランティア)のチームから、FMYY の社会的存在意義は非常に高いことは理解できたが、「知っている人は知っている非常にコアな団体」であり、一般的には何がしたいのかが捉えにくく、研究書物などはたくさんあるので読み込む、サイトをかなり深く掘り下げるか、あるいは現場に来て共に活動する時間を持たなければ理解しがたい団体だという指摘をいただいたことも、今後の「見せ方」並びに「会員の広がり」につながる事となった。

市民が支える「場」の継続維持は、なかなか困難であることに変わりはないが、今の日本社会のみならず、世界的空気感を考えると、世の中に掉さず、あらがう、これからの社会をより良くするためには、気づいたものからの発信は、ますます必要になっているともいえる。

また、阪神・淡路大震災以来、「たかとり」で培ったこうしたコミュニティ活動は、国境を越えてインドネシア、タイ、アフリカなどで同じくコミュニティ活動に取り組む仲間達に共有され、人のつながりはボーダーレスに発展し、地域コミュニティが抱える問題も国境を越えて、様々な関係者が一緒に解決していく必要性が増している。相互の学び合いと協働が互いの地域社会をよりよいものにしていくことは、インターネット時代の今、ますます必要なこととなっている。

I 事業

(1) 多文化共生のまちづくりに資するコミュニティメディア事業

ア) 発信

FMYY の番組配信は、ストリーミング配信が 2 系統を順次終了。(サイマル放送、リスンラジオ)、FMYY

ホームページの音源掲載（オンデマンド配信）、と連携した Podcast、YouTube を使った動画中継。

① 番組の配信形態について

- サイマル放送：地上波時代と同様の方式。
- リスンラジオ（リスラジ）：株式会社ディーピーエヌが提供するサービス。主に国内向けに配信。
- FMYY ホームページの音源掲載：ストリーミング配信と同時に、または何回か分まとめて、FMYY のホームページに掲載。
- Podcast でのアーカイブ化：FMYY ホームページの音源掲載に連動してアップ。
- YouTubeLive：山中研究室から提供を受けたメディア機器を使って、2018 年 3 月 17 日から開始。

②配信システム全般について

- 同時録音システム：本スタジオで生録をする土曜日と水曜日のみ同録用パソコンで自動録音。日曜以降の配信プレイリストで配信。
- 土曜日以外のストリーミング配信：土曜夜に日曜から金曜日までのプレイリストを作成。配信時間は 11 時 55 分から夜の 8 時 10 分。
- 視聴数の統計：現在、サイマル放送と FMYY ホームページ掲載音源の視聴統計を集計。
- FMYY ストリーミング配信モニター：長田神社前商店街とアスタくにつかコミュニティハウス。

③配信番組

【タイムテーブル 2018 年 10 月～】

タイムテーブル(2018年10月度)

2018年10月～

時間	第1土曜日	第2土曜日	第3土曜日	第4土曜日	第5土曜日	時間
12時～13時	ワンコイン番組 FMYY	ワンコイン番組 FMYY	ワンコイン番組 FMYY	ワンコイン番組 FMYY	ワンコイン番組再放送	12時～13時
13時～13時30分					ワンコイン番組再放送	13時～13時30分
13時30分～14時		わいわいキッズラジオ ラジオママネット	わいわいキッズラジオ ラジオママネット	わいわいキッズネットワークながた プロジェクトM		13時30分～14時
14時～14時30分				YYジャーナル 農田の視点 FMYY	ワンコイン番組再放送	14時～14時30分
14時30分～15時	いまだきのメディアリテラシー 関西学院大学山中ゼミ	いまだきのメディアリテラシー 関西学院大学山中ゼミ	いまだきのメディアリテラシー 関西学院大学山中ゼミ	いまだきのメディアリテラシー 関西学院大学山中ゼミ		14時30分～15時
15時～16時	Latina-a (前週の再放送) ひょうごラテンコミュニティ	Latina-a (前週の再放送) ひょうごラテンコミュニティ	Latina-a (前週の再放送) ひょうごラテンコミュニティ	Latina-a (前週の再放送) ひょうごラテンコミュニティ	ワンコイン番組再放送	15時～16時
16時～16時30分	KOBE Bridging JAPAN & AFRICA through ICT (日本版) 神戸情報大学(神戸市)	KOBE Bridging JAPAN & AFRICA through ICT (日本版) 神戸情報大学(神戸市)	神戸市立東灘南東第一附属立東灘南東 神戸市立東灘南東中学校	ゆうかりに乾杯		16時～16時30分
16時30分～17時	KOBE Bridging JAPAN & AFRICA through ICT (En) Graduate School of Information Technology Kobe Institute of Commerce KIV AN 1628N MA BONS	KOBE Bridging JAPAN & AFRICA through ICT (En) Graduate School of Information Technology Kobe Institute of Commerce KIV AN 1628N MA BONS		ゆうかり放送委員会		16時30分～17時
17時～17時30分	(読みやすい日本をつくるための情報番組) ベトナム夢KOBEL (住友信託銀行CSR基金)	(読みやすい日本をつくるための情報番組) ベトナム夢KOBEL (住友信託銀行CSR基金)	電機専門チャンネル「南の風」			17時～17時30分
17時30分～17時45分	AWEPあんにゅつしん アジア女性自立プロジェクト (神戸市立三宮区立三宮南中学校CSR基金)	AWEPあんにゅつしん アジア女性自立プロジェクト (神戸市立三宮区立三宮南中学校CSR基金)	大塚愛出等			17時30分～17時45分
17時45分～18時		放課後ジュニアラジオ部 中東生インクルーシブプロジェクト (兵庫県立三宮区立三宮南中学校CSR基金)				17時45分～18時
18時～18時15分			FM2バウンス			18時～18時15分
18時15分～18時30分						18時15分～18時30分
18時30分～19時	香川 浩志の 山崎 幸子 山崎 幸子 山崎 幸子 新感覚・新感覚		FMYY	YYジャーナル 農田の視点 FMYY	YYジャーナル 農田の視点 FMYY	18時30分～19時
19時～19時15分	Wmba アーティストセレクション Trilogic/Wmba	Wmba アーティストセレクション Trilogic/Wmba	Wmba アーティストセレクション Trilogic/Wmba	Wmba アーティストセレクション Trilogic/Wmba		19時～19時15分
19時15分～19時30分	農田今昔物語～千夜一夜 プロジェクトM	農田今昔物語～千夜一夜 プロジェクトM	農田今昔物語～千夜一夜 プロジェクトM	農田今昔物語～千夜一夜 プロジェクトM	農田今昔物語～千夜一夜 プロジェクトM	19時15分～19時30分
19時30分～19時45分	Voice of FUKUSHIMA プロジェクトM	Voice of FUKUSHIMA プロジェクトM	Voice of FUKUSHIMA プロジェクトM	Voice of FUKUSHIMA プロジェクトM	Voice of FUKUSHIMA プロジェクトM	19時30分～19時45分
19時45分～20時	耳で読み解く日本国憲法(アーカイブ) FMYY	耳で読み解く日本国憲法(アーカイブ) FMYY	耳で読み解く日本国憲法(アーカイブ) FMYY	耳で読み解く日本国憲法(アーカイブ) FMYY	耳で読み解く日本国憲法(アーカイブ) FMYY	19時45分～20時

水曜日19:00～20:00
Latina-a
ひょうごラテンコミュニティ

※ 番組が表示されていないところは、わいわいミュージックタイム/アーカイブ(FMYY)になります。
※ (日)～(金)は(土)の再放送です

④多様性の発信イベント

日時	名称	参加形態
4/29	第 14 長田の園遊会 花水木まつり	実行委員会委員参加
7/17・18	夏越ゆかた祭 ゆかたでナイト 2018	実行委員会委員参加
8/4・5	大国公園なつまつり	地域団体として屋台並びに音響担当
10/14	第 15 回輝け！集まれ！ながたっ子祭	実行委員会委員参加
11/11	第 24 回一七市拡大版 2017 『あの日に思いやり の心』を忘れぬために～改めて災害に備える心～	実行委員会委員参加
1/17	第 20 回 1.17KOBE に灯りを in ながた	実行委員会委員参加

※それぞれ祭の企画から実行委員として参加し、地域における多様性顕在化の提案、阪神・淡路大震災からの市民の活動が積み重ねてきた知恵の継承を提案する機会としている。

(2) 災害に対する防災・減災事業

ア) 海外事業

①インドネシアでの災害ラジオを活用した地域防災力強化



日本と同じように災害が多く、かつコミュニティラジオ局が全土に広がるインドネシアの現地のコミュニティラジオ関係者（インドネシアコミュニティラジオ協会など）と 2006 年以来、FM わいわいは互いの経験と知識の共有を続けている。2016 年 3 月末に終了した JICA 草の根技術協力事業「」に引き続き、2017 年 7 月からスタートした JICA 草の根技術協力事業フェーズ 2 「官民協働によるコミュニティラジオを活用した防災力強化事業」（事業期間：2017 年 7 月から 2021 年 7 月まで）に、インドネシア・コミュニティラジオ協会内に FM わいわいの現地拠点を置いて、現地パートナー（インドネシア・コミュニティラジオ協会、アトマジャヤ大学ジョグジャカルタ校、コンバイン・リソース・インスティテューション）と協働で取り組んだ。

阪神淡路大震災以来の経験を生かして、インドネシアの四地域（東ジャワ、中部ジャワ、北スマトラ、バリ）で災害ラジオを活用した地域防災力の向上に取り組み、災害ラジオの制度化を推し進めている。2018 年度の特筆すべきことは、これまでの活動が後追いする形で、情報通信省の省令によりインドネシアで初めてとなる省令に基づく臨時災害ラジオ局の開設がスラウェシ島地震・津波（2018 年 9 月末発生）の被災地で許可され、情報通信大臣が「臨時災害ラジオ局の開設はスラウェシ島地震・津波の被災地にとどまらず、いかなる災害にも必要があれば適応する」と表明したことである。これは、日本に次いで世界で二番目のことである。

また、この臨時災害ラジオ局の制度化を受けて、2019 年 1 月にインドネシア・コミュニティラジオ協会代表ら現地パートナー団体から三名を日本に招聘し、厚真町災害エフエム、FM ピパウシ、エフエム和歌山、

NHK、総務省近畿総合通信局などを訪問するとともに、阪神淡路大震災追悼行事に参加した。

② インドネシアの災害被災地での災害エフエム開設による救援活動

2018年6月にジャパンブラットフォームの助成ステータスを再取得し、ジャパンブラットフォーム事業として、2018年7月末にインドネシア・ロンボク島で発生した地震で大きな被害を受けた北ロンボク県に、インドネシア・コミュニティラジオ協会と協働でラジオ局（災害ラジオ局/コミュニティラジオ局）一局を開設し、トレーニングを受けた地元行政職員と住民達の手で被災者が必要とする災害情報、生活再建を伝える体制を整えた。Panasonicの現地法人と協力して、947台のラジオ受信機を被災者に配布し、被災者が迅速に災害情報を受け取れるようになった。

また、同じくジャパンブラットフォーム事業として、2018年9月末にインドネシア・ロンボク島で発生した地震・津波の被災地でもBHNテレコム支援協議会、インドネシア・コミュニティラジオ協会と協働で災害ラジオ局の開設支援に2019年2月から取り組んだ。事業終了は2019年5月。

③ 世界コミュニティラジオ放送連盟アジア太平洋地域（AMARC Asia Pacific）との連帯

AMARCの会員として、FMわいわいの経験を共有することに努め、2018年11月にインドネシア・ジョグジャカルタで開催された第4回AMARC Asia Pacificカンファレンスの協力団体として、カンファレンスの準備、開催に尽力した。カンファレンスはアジア太平洋地域を中心に11カ国238名のコミュニティラジオ関係者、研究者、援助機関、政府関係者が参加し、そのうち日本から12名の参加が実現し、テーマ別の全体セッション、ワークショップ、日本とインドネシアの二国間ミーティングなど、活発に活動を展開した。FMわいわいからは四名（金千秋、橋爪明日香、中川崇、日比野純一）が参加した。龍谷大学政策学部教授の松浦さと子さん（FMYY正会員）のサポートで、AMARC Asia Pacificカンファレンスを軸としたコミュニティラジオをテーマにした映像（日本語版と英語版）は橋爪明日香理事の手で制作された。

また、カンファレンス最終日の総会で、日比野純一理事がAMARC Asia Pacificの財務担当理事に再選された。

イ) 国内事業

① 危機管理室との連携

神戸市危機管理室との覚書締結により、2017年4月よりFMYYのスタジオ内に神戸市防災行政無線の割込装置が設置され、FMYYのストリーミング放送に割込み。防災行政無線の放送内容は、緊急地震情報、津波警報などの自然災害に加え、国民保護事態に分類される、ゲリラ攻撃、ミサイル攻撃などの情報も含まれる。また、17日夕方5時からテスト放送が毎月行われ、これもFMYYのストリーミング配信中に流れるようになっている。今後のストリーミング放送の終了に伴い、「行政から流れる情報へ、外国人がアクセスする」という思考から、すでに多くのリスナーを持つ定住外国人コミュニティの番組継続支援の方がいかに重要であるかを理解してもらうための話し合いを行った。しかしながらなかなか難しい道である。

ウ) 国内外共通事業

① BHNテレコム協議会ならびにエフエム和歌山との防災連携

災害ラジオ局の経験を有するBHNテレコム協議会、エフエム和歌山と災害時に備えた連携体制の構築に努め、2018年9月（東京）、2018年11月（ジョグジャカルタ）、2019年1月（神戸と和歌山）にネットワーク会合を開催した。特に南海トラフに備え、FMYYが保有する送信機一台をFM和歌山に無償貸与し、臨時災害放送局用の機材として活用することになった。

② 宮城県気仙沼復興住宅訪問

2018年4月16日・17日・18日

③大阪北部地震の現地調査

2018 年 7 月 11 日 箕面 FM・茨木ならびに枚方、高槻の避難所訪問

④東北・熊本地震への支援

2018 年 12 月 8 日・9 日・10 日 全国被災地語り部国際シンポジウム@熊本の実行委員として参加

(3)多文化共生のまちづくりに資する場づくり、研究、教育、啓発事業

ア) 教育現場との連携

①大学・高校・中学・小学校・研究者(国内外)

形態	大学・研究者(国内外)
インターン受け入れ	神戸学院大学、京都外国語大学、ソウル女子大学校、長田中学ベトナム人中学生トライやる week
講義(非常勤講師)	神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸大学、兵庫県立大学、神戸学院大、兵庫高校 関西学院大学・龍谷大学・神戸市立だいいち小学校(教職員)
研修/フィールドワーク	JICA 中南米、JICA ブラジル防災、ムバンチョンビンラチャパット大学・ソウル大学、東北大学、大阪市大、神戸大学、PHD 協会

イ) 企業との連携

NPO 広報力向上委員会「伝えるコツ」委員会委員

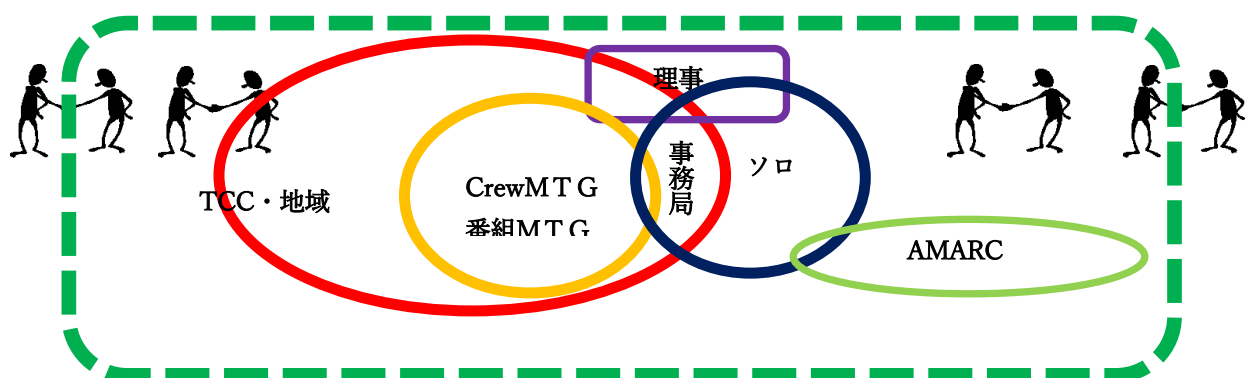
ウ) 自主勉強会

場づくり	ワンコイン番組
自主勉強会	YouTube 配信講習会 防災ワーキンググループ・著作権・個人情報保護・ポリティアカルコネクトなど

*理事や crew が講師となって、勉強会や知恵共有を行った。

II 管理・運営

(1) 団体の運営体制



神戸・長田の日本事務所とインドネシア・ジョグジャカルタ事務所は日常的に What's up で繋がっている。海外事業担当者が帰国時に情報共有のため会計担当も共に事務局会議、コミュニティメディア事業における全体的な共有 CrewMTG、番組や広報について月一回の番組 MTG。管理部門の経費は、

2017 年公認会計士の監査の上、案分で負担。海外事業も国内事業も、緩やかに繋がりつつ、国内外の知見を融合させ、FMYY がその最初から求めている「誰もが住みやすい社会構築」を目指している。

	出勤と会議	日本事務所	会計	海外	Crew	計
FMYY 事務局	火・木・土	金・緒方	古寺	日比野・中川		5
番組 MTG	第 3 火曜日	金・緒方			佃・宮本・河野・工藤・太田 番組制作者は参加可能。	7
CrewMTG	第 1 土曜	金・緒方			FMYY 会員は参加可能	
理事	適宜	大川・金・緒方・日比野・長谷部・大坪・大城・橋爪・李				9
監事	年度末	森崎・高				2
会計	火・木	古寺				1
正会員		大川・金・緒方・日比野・長谷部・大坪・橋爪・李・高松・森崎・佃 神田・吉富・金山(勉)・小川・中村・中嶋・和田・松浦・吉野・関本 大城ロクサナ・坂田・野田北ふるさとネット				24
賛助会員						23
一般会員						125
CrewML						73
NEWS 購読者						344
防災連絡網	LINE					24

(2) 2017 年度決算・

別紙参照 2017 年度の決算も添付。合わせてご確認ください。

(3) ファンドレイジング

個人寄付：FMYY の名前で大学の講義、イベント司会、フィールドワーク対応などの事業を行った場合
2 割を FMYY 会計に個人寄付として入れる。

一般寄付：上記とは別の寄付。

使途指定寄付：使途を指定しての寄付。

(4) アカウンタビリティセルフチェック＝ASC

JANIC(下記 URL を参照。国際協力 NGO センター)によるセルフチェックを受け、その認証マークを 2018 年 6 月に取得した。この認証は NGO/NPO としての信頼のお墨付きであり、FMYY の
いろんな広報ツール(チラシ、名刺など)に活用することで力としていきたい。

<http://link.janic.org/more/accountability/selfcheck/>



◆2018 年度 総会開催

日 時：2018 年 6 月 16 日（土）14 時から 15 時半まで

場 所：カトリックたかとり教会 会議室（神戸市長田区海運町 3-3-8）

◆2018 年度 理事会

2018 年 4 月 3 日（火）18 時半から 20 時半、TCC 2 階会議室

2018 年 6 月 5 日（火）18 時から 20 時半、TCC 2 階会議室

2018 年 7 月 10 日（火）13 時半から 14 時、TCC 2 階会議室

2018 年 12 月 6 日（火）14 時から 15 時半、TCC 2 階会議室

◆2018 年度 事務局体制

日本事務所：金・緒方・（大川産休）

インドネシア事務所：日比野・中川・岡戸

会計：古寺

2018年度 活動計算書(予算対比)

2018年04月01日～2019年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目 CD	科目	予算額	決算額	予算残額	執行率(%)
1.経常増減の部					
(1)経常収益					
受取会費					
	正会員受取会費	132,000	132,000	0	100
	賛助会員受取会費	240,000	190,000	50,000	79.2
	一般会員受取会費	200,000	144,000	56,000	72
	受取会費計	572,000	466,000	106,000	81.5
受取寄付金					
	一般寄付金	100,000	118,400	-18,400	118.4
	使途指定寄付金	500,000	540,717	-40,717	108.1
	個人寄付	150,000	36,000	114,000	24
	受取寄付金計	750,000	695,117	54,883	92.7
受取助成金等					
	受取民間助成金				
	- 住友ゴム工業	246,000	246,000	0	100
	受取助成金等計	246,000	246,000	0	100
事業収益					
	コミュニティメディア事業収益				
	- 受託料	1,288,800	1,905,280	-616,480	147.8
	- 放送料	1,500,000	901,027	598,973	60.1
	- 1コイン番組	100,000	91,940	8,060	91.9
	- 書籍	0	1,500	-1,500	0
	イベント企画・運営事業収益				
	- 受託料	440,000	475,640	-35,640	108.1
	- 謝礼	0	10,000	-10,000	0
	コンテンツ企画・運営事業収益				
	- 受託料	0	379,200	-379,200	0
	- 謝礼	300,000	251,100	48,900	83.7
	緊急支援事業収益	0	5,610,335	-5,610,335	0
	復旧・復興事業収益	0	368,823	-368,823	0
	研究・教育・啓発事業収益				
	- 受託料	350,000	267,200	82,800	76.3
	- 謝礼	50,000	10,000	40,000	20
	- DVD	0	2,000	-2,000	0
	物品販売事業収益				
	- 機材	0	5,000	-5,000	0
	JICA防災プロジェクト収益				
	- 受託料	18,144,000	16,299,000	1,845,000	89.8
	事業収益計	22,172,800	26,578,045	-4,405,245	119.9
その他収益					
	受取利息	3,000	2,645	355	88.2
	雑収益	1,000	1,000	0	100
	その他収益計	4,000	3,645	355	91.1
	経常収益合計	23,744,800	27,988,807	-4,244,007	117.9
(2)経常費用					
事業費					
【人件費】					
	給料手当	6,875,000	7,418,825	-543,825	107.9
	法定福利費	0	1,069,987	-1,069,987	0
	通勤交通費	0	143,160	-143,160	0
	【人件費計】	6,875,000	8,631,972	-1,756,972	125.6
【その他費用】					
	諸謝金	190,000	453,574	-263,574	238.7
	移動費(JICA)	0	300,937	-300,937	0
	旅費交通費	137,000	259,740	-122,740	189.6

2018年度 活動計算書(予算対比)

2018年04月01日～2019年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目 CD	科目	予算額	決算額	予算残額	執行率(%)
	航空費(JICA)	958,000	725,049	232,951	75.7
	その他旅費(JICA)	1,086,000	983,882	102,118	90.6
	会議費	177,000	123,694	53,306	69.9
	施設使用料	0	8,400	-8,400	0
	ネット放送費	100,000	100,440	-440	100.4
	通信運搬費	113,000	190,379	-77,379	168.5
	消耗品費	324,000	147,808	176,192	45.6
	海外活動諸費	5,477,000	4,524,694	952,306	82.6
	印刷製本費	35,900	143,679	-107,779	400.2
	修繕費	0	21,000	-21,000	0
	レンタル料	0	34,375	-34,375	0
	国内活動業務費	1,112,000	451,311	660,689	40.6
	受入諸費	0	460,531	-460,531	0
	間接経費	2,636,000	523,398	2,112,602	19.9
	保険料	25,000	246,250	-221,250	985
	水道光熱費	595,000	654,749	-59,749	110
	外部調査費	0	509,896	-509,896	0
	外注費	0	120,000	-120,000	0
	委託費	1,700,000	1,541,442	158,558	90.7
	諸会費	0	58,819	-58,819	0
	支払手数料	3,000	24,731	-21,731	824.4
	租税公課	0	10,200	-10,200	0
	支払寄付金	0	22,500	-22,500	0
	雑費	0	7,002	-7,002	0
	減価償却費	700,000	682,295	17,705	97.5
	直接事業費	0	2,617,976	-2,617,976	0
	渡航費	0	723,578	-723,578	0
	現地事業管理・運営費	0	747,889	-747,889	0
	本部事業実施経費	0	231,232	-231,232	0
	【その他費用計】	15,368,900	17,651,450	-2,282,550	114.9
	事業費計	22,243,900	26,283,422	-4,039,522	118.2
	管理費				
	【人件費】				
	給料手当	0	336,168	-336,168	0
	【人件費計】	0	336,168	-336,168	0
	【その他費用】				
	諸謝金	0	8,000	-8,000	0
	旅費交通費	30,000	13,980	16,020	46.6
	会議費	7,000	64,073	-57,073	915.3
	通信運搬費	15,000	21,646	-6,646	144.3
	広告宣伝費	10,000	25,850	-15,850	258.5
	消耗品費	4,000	2,809	1,191	70.2
	印刷製本費	3,500	6,080	-2,580	173.7
	修繕費	4,000	3,400	600	85
	保険料	3,500	0	3,500	0
	水道光熱費	92,000	86,053	5,947	93.5
	顧問料	100,000	100,000	0	100
	委託費	170,000	168,000	2,000	98.8
	諸会費	140,000	130,000	10,000	92.9
	支払手数料	55,000	18,062	36,938	32.8
	租税公課	3,500	10,250	-6,750	292.9
	支払寄付金	10,000	119,000	-109,000	1190
	雑費	5,000	18,059	-13,059	361.2

2018年度 活動計算書(予算対比)

2018年04月01日～2019年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目 CD	科目	予算額	決算額	予算残額	執行率(%)
	【その他費用計】	652,500	795,262	-142,762	121.9
	管理費計	652,500	1,131,430	-478,930	173.4
	経常費用合計	22,896,400	27,414,852	-4,518,452	119.7
	当期経常増減額	848,400	573,955	274,445	67.7
	2.経常外増減の部				
	(1)経常外収益				
	経常外収益合計	0	0	0	0
	(2)経常外費用				
	過年度損益修正損	0	101,000	-101,000	0
	経常外費用合計	0	101,000	-101,000	0
	税引前当期正味財産増減額	848,400	472,955	375,445	55.7
	法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0	100
	当期正味財産増減額	776,400	400,955	375,445	51.6
	前期繰越正味財産額	2,043,376	2,043,376	0	100
	次期繰越正味財産額	2,819,776	2,444,331	375,445	86.7

2018年度 貸借対照表

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科 目		金 額	
資産の部			
流動資産			
現金	550,953		
当座預金	23,040		
普通預金	7,272,202		
未収金	1,022,383		
流動資産合計		8,868,578	
固定資産			
建物付属設備	1		
什器備品	1,053,711		
電話加入権	114,984		
固定資産合計		1,168,696	
資産合計			10,037,274
負債の部			
流動負債			
未払金	2,483,018		
未払法人税等	72,000		
前受金	112,480		
預り金	165,445		
仮受金	50,000		
流動負債合計		2,882,943	
固定負債			
長期借入金	4,710,000		
固定負債合計		4,710,000	
負債合計			7,592,943
正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,043,376	
当期正味財産増減額		400,955	
正味財産合計			2,444,331
負債及び正味財産合計			10,037,274

2018年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい

(円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		550,953		
--小口現金		17,473		
--小口1(金)		78,586		
--小口2(大)		10,000		
--ペイパル		33,420		
--インドネシア現金		222,392		
--インドネシア現金2		189,082		
当座預金		23,040		
--郵便振替口座		23,040		
普通預金		7,272,202		
--三菱UFJ銀行		2,533,303		
--ゆうちょ銀行(一般)		1,657,803		
--ゆうちょ銀行(JICA)		1,660,929		
--みなと銀行		156,268		
--ゆうちょ銀行(JPF2)		50,000		
--インドネシア民衆銀行 (BRI1)		62,236		
--インドネシア国営銀行 (BNI)		1,151,663		
未収金		1,022,383		
--放送料		41,760		
--受託料		978,623		
--会費		2,000		
流動資産合計			8,868,578	
固定資産				
建物付属設備		1		
什器備品		1,053,711		
電話加入権		114,984		
固定資産合計			1,168,696	
資産合計				10,037,274
負債の部				
流動負債				
未払金		2,483,018		
--給料		1,150,920		
--その他諸経費		801,886		
--受託料		530,212		
未払法人税等		72,000		

2018年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 エフエムわいわい

(円)

科 目	摘 要	金 額		
前受金		112,480		
預り金		165,445		
--源泉所得税(給与)		63,477		
--源泉所得税(謝金)		2,158		
--住民税		9,900		
--社会保険料		89,910		
仮受金		50,000		
流動負債合計			2,882,943	
固定負債				
長期借入金		4,710,000		
固定負債合計			4,710,000	
負債合計				7,592,943
正味財産合計				2,444,331